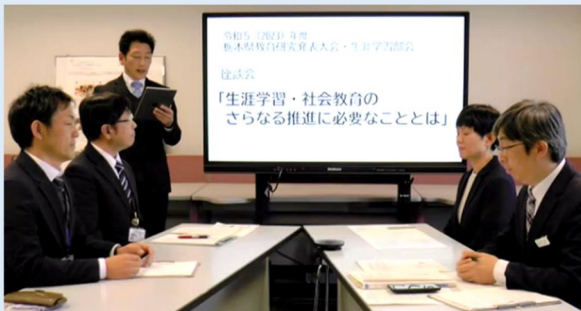


# 令和5（2023）年度栃木県教育研究発表大会報告

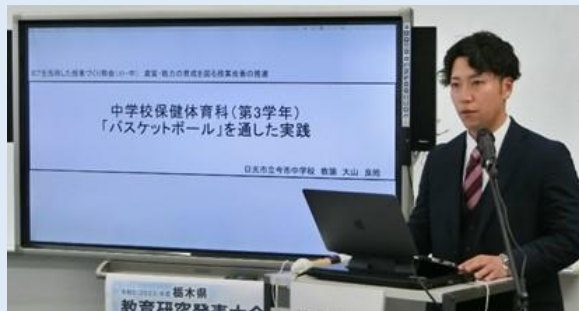
令和5（2023）年度栃木県教育研究発表大会は、令和6（2024）年1月26日（金）・27日（土）の両日、栃木県総合教育センターを会場に、オンライン（Zoom 配信）により17の部会を開催しました。二日間で、延べ1,594人の参加があり、盛会のうちに終了しました。以下、一部の部会の様子を紹介します。

26日（金）に開催された「生涯学習部会」では、「生涯学習・社会教育のさらなる推進に向けて～社会教育指導者として今後注力すべきこと～」を部会テーマとして取り上げました。市町社会教育指導者対象の調査報告や生涯学習・社会教育の推進に取り組む方々による座談会を通して、生涯学習・社会教育のさらなる推進に向けて必要なことを考える機会となりました。



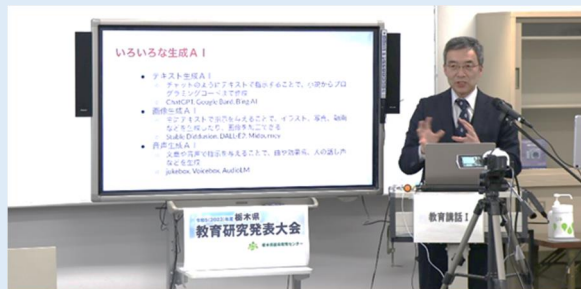
【「生涯学習部会」における実践発表の様子】

27日（土）に開催された「ICTを活用した授業づくり部会」では、「資質・能力の育成を図る授業改善の推進」を部会テーマとして、小学校家庭科と中学校保健体育科の実践発表がありました。単元の構想とICTの効果的な活用を視点とした事例発表を通して、児童・生徒の資質・能力の育成を図る授業改善の方法について考えるよい機会となりました。



【「ICTを活用した授業づくり部会」における実践発表の様子】

27日（土）に開催された「教育講話Ⅰ」では、玉川大学大学院教育学研究科の久保田善彦教授から「GIGAスクール時代の授業改善」と題して、御講話をいただきました。生成AIの現状と使用上の留意点等及び授業での活用事例を紹介していただき、「授業を、ゴールからデザインすることの利点」や「振り返りは学びの本質であること」など、授業改善の視点についての理解を深めることができました。



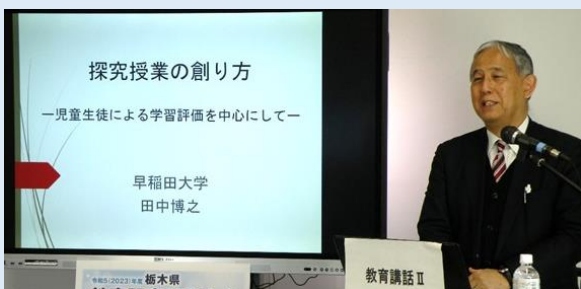
【久保田教授による「教育講話Ⅰ」の様子】

27日（土）に開催された「校内研修部会」では、「教員が主体的・協働的に取り組み、同僚性を高める校内研修の在り方」を部会テーマとして、宇都宮大学教職大学院生による「校内実践プロジェクト」の実践発表及び青柳宏教授（同大学）からの指導助言がありました。同僚性を高める校内研修の在り方や教員同士の「対話」が充実することの重要性などについて考えるよい機会となりました。



【「校内研修部会」における実践発表の様子】

27日（土）に開催された「教育講話Ⅱ」では、早稲田大学大学院教育学研究科の田中博之教授から「探究授業の創り方」と題して、御講話をいただきました。理論を踏まえた数多くの実践事例について小学校・中学校・高等学校での動画を提示しながら紹介していただき、教科における探究の創り方について考えたり、「授業改善と学習改善は車の両輪である」など、授業デザインを見直したりするよい機会となりました。



【田中教授による「教育講話Ⅱ」の様子】

この他にも、1月26日（金）に、「学校安全」、「人権教育」、「SDGsの視点からの学習活動研究」、「学力向上」、「外国語教育」、「道徳教育」、「情報教育」、27日（土）に「STEAM教育」、「児童・生徒指導」、「教科における探究（高）」、「特別支援教育」、「幼小連携」の各部会が開催されました。遠方の方や県外の方からも多くの参加があり、Zoomのチャット機能を活用して数多くの質問や感想等が寄せられました。

大会終了後の参加者アンケートからは、「明日から実践するためのヒントとエネルギーをいただきました。」等の多くの肯定的な感想をいただきました。皆様の御意見、御感想を参考にしながら、本発表大会が、明日を担う子どもたちのために、栃木の教育力の向上につながっていくよう、今後も努めて参ります。